

2022年4月14日

各 位

オリックス株式会社  
(コード番号：8591)

## 当社初のユーロ建グリーンボンドの発行について

オリックス株式会社（本社：東京都港区、社長：井上 亮）は、2022年4月13日、当社初のユーロ建グリーンボンド（無担保普通社債、以下「本社債」）を発行することを決定しましたのでお知らせします。本社債はグリーンボンドとして、当社が策定したグリーンボンドフレームワーク<sup>※1</sup>の適格クライテリアを満たすプロジェクトに資金用途を限定して発行されます。

当社は、資金調達の機動性の確保および多様化の一環として、ユーロ MTN プログラム<sup>※2</sup>を設定しており、今回はこれを活用した海外の機関投資家からの資金調達となります。

### 記

#### 1. 本社債の概要

発行総額	: 3億ユーロ（約408億円） <sup>※3</sup>
利 率	: 年 1.919%
払込金額	: 額面金額の 100%
払込期日	: 2022年4月20日
償還期限	: 2026年4月20日
募集形態	: ユーロ MTN プログラムに基づき、欧州・アジアなど海外市場における機関投資家を対象とした募集

#### 2. 本社債に関する事項

##### ① 資金用途

本社債により調達された資金は、当社が策定したグリーンボンドフレームワークの適格な事業領域「再生可能エネルギー」に関する事業開発・運営を行う **Elawan Energy**（スペイン本拠）の買収に係る支出に充当する予定です。

##### ② サステナビリティによる外部評価

グリーンボンドフレームワークについては、2020年1月14日にグローバルな第三者 ESG 評価機関であるサステナビリティクスからセカンドパーティ・オピニオン<sup>※1</sup>を取得しています。

オリックスは、オリックスグループの持続的な成長を可能とする重要課題の1つとして「気候変動リスク軽減のための重点分野・課題」を認識し、優先的に課題解決に取り組んでいます。※4

本社債の発行により、資金調達が多様化を進めるとともに、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

※1 グリーンボンドフレームワークのセカンドパーティ・オピニオン（サステナビリティウェブサイト）：

<https://www.sustainalytics.com/sustainable-finance/wp-content/uploads/2020/01/ORIX-Corporation-Green-Bond-Second-Party-Opinion-JAPANESE.pdf>

※2 MTN（ミディアム・ターム・ノート）プログラム：社債の発行体が、予めディーラーと社債発行に関する基本契約を締結することで、発行限度額内で個別債券を機動的に発行できるようにしたプログラム

※3 EUR1≒135.85 円（2022年4月13日時点）にて換算

※4 当社サステナビリティページ：<https://www.orix.co.jp/grp/company/sustainability/>

以 上

＜株主・投資家からのお問い合わせ先＞

IR・サステナビリティ推進部 TEL：03-3435-3121

＜報道関係者からのお問い合わせ先＞

グループ広報・渉外部 広報チーム TEL：03-3435-3167

本文は、当社の証券発行に関する情報を一般に公表するために作成されたものであり、いかなる証券についても投資勧誘行為の一部をなすものではありません。なお、日本における証券の募集又は販売は行われません。上記の証券は、1933年米国証券法に従って登録がなされたものでも、また、今後登録がなされるものでもなく、同法に基づいて証券の登録を行うか又は登録の免除を受ける場合を除き、米国における証券の募集、購入の勧誘又はそれに類する行為を構成するものではありません。1933年米国証券法に基づいて証券の登録を行うか又は登録の免除を受ける場合を除き、米国において証券の募集又は販売を行うことは許されません。なお、米国および募集が禁止、制限される地域における証券の募集又は販売は行われません。